にょど川

仁淀川町広報

2010
6月号

町制5周年 祝う伝統文化の共演

町消防団に新消防車配備

今年も地域流通商品券発売

集落見聞録〈霧之窪〉

町制5周年祝う華やかな共演

石見神楽「大蛇（おろち）」

地域の宝／仁淀川町の神楽・伝統文化に1,000人

五月十五日、仁淀川町制五周年記念イベント「地域の宝／仁淀川町の神楽・伝統文化」が池川神社で行われ、約一千人の見物客が訪れました。

町に伝わる三神楽（池川神楽、安居神楽、名野川磐門神楽）の合同公演は今年で三回目になり、町制五周年を迎える今回は、島根県の「石見神楽上吉田保存会」の方々をお招きし、秋葉まつりの奉納組（本村組）などとともに、華やかな共演が実現しました。

当日は宮はらい（池川神楽）で始まり、境内で「狩山豊年踊り」「椿山太鼓踊り」「鳥毛ひねり（本村組）」「都太鼓踊り」などが次々に披露されました。鳥毛ひねりでは、鳥毛投げが成功するたびに見物客から大きな拍手と歓声が送られ、秋葉まつりさながらの迫力に会場が大いに盛り上がりました。

後半は特別出演の「石見神楽」と、いずれも国の重要無形民俗文化財指定の「名野川磐門神楽」「安居神楽」「池川神楽」の公演。石見神楽の華やかで迫力ある舞と、仁淀川町に古くから伝わる伝統の舞が、観客らに深い感動をあたえ、多くの称賛の声が上がっていました。

当日は「仁淀川町に来たのは初めて」という方も多く、皆一様に「自然が多くていい所やね」「本当に来て良かった」と話していただき、その笑顔が印象的でした。

地場産品コーナーも大盛況

当日は地場産品コーナーを設け、町内の十一団体（秋葉まつりの里を元気にする会えんこ巌、（農）池川茶業組合、池川茶業研究会、池川遊遊会、武田勝頼土佐の会、だんだんくらぶ、（有）土佐自然工場、仁淀川町生活改善グループ、仁淀川町てっぺんソバ組合、によど自然素材等活用研究会、（株）フードプラン、森山女性なんでもクラブ）の皆さんがイベントを盛り上げてくれました。

どの店も、商品はほとんど完売しました

石見神楽

島根県西部の石見地方に伝わる神楽。民俗芸能として舞われている。

狩山豊年踊り

秋の五穀豊穣を神に感謝し、神人一如の喜びを祝う踊り。もともとは先祖供養としての踊りであった。

名野川磐門神楽

長宗我部氏の家臣・山内左内が藩主の命で菜野河神社を建立し、神楽を奉納したのが始まりとされる。

椿山太鼓踊り

氏仏堂で、安徳幼帝の子守歌として、また平家の武将や公達の霊を慰める踊りとして毎年奉納される。

安居神楽

神楽太夫によって継承され、郷中の氏神の神慮を慰め、悪魔退散、子孫繁栄などの祈願に奉納された。

鳥毛ひねり（本村組）

毎年２月11日に行われる秋葉まつり。華麗に舞い、長さ７mの鳥毛を空中高く投げ合うまつりの花形。

池川神楽

400年の伝統を受け継ぐ土佐最古の神楽。社家によって継承されてきた神事芸能。

都太鼓踊り

別名「都踊り」。情緒豊かで、しかも素朴さの中にも男性的で豪快な踊り。